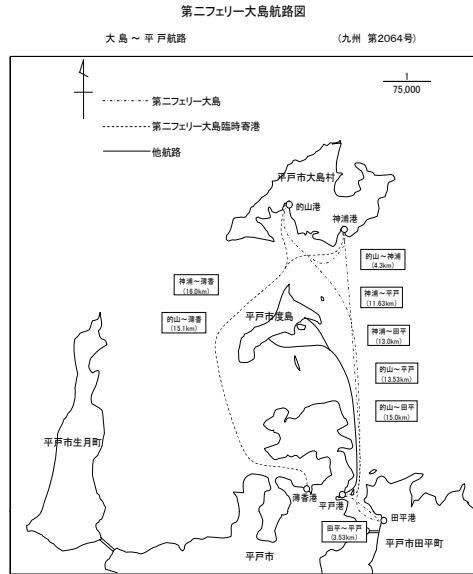


概要

【航路の概要】

- 1 運航事業者
平戸市
- 2 船舶の概要
○第二フェリー大島
主要目:総トン数 199トン
速力 13ノット
旅客定員 150名
- 3 運航回数
1日5往復
- 4 寄港地
的山港(平戸市大島村)
神浦港(平戸市大島村)
田平港(平戸市田平町)
平戸港(平戸市)



計画、目標(Plan)

○大島～平戸航路は、競合航路であった美咲海送の航路が、平成24年1月末をもって運航を休止したに伴い、大島島民にとって唯一の航路となった。運休に伴い、車両等の増加に対応するため、平成24年2月1日から1日4往復を5往復に増便して対応しているが、増便及び原油高騰による燃料潤滑油費の増等による影響で欠損額が生じている状況である。生活航路として、通学、通勤、通院、車両輸送、買い物、生活物資輸送のため、さらには、産畜産物の出荷等のため、欠かすことのできない大変重要な航路であり、本航路を維持していく上では、国・県の支援が必要である。

○国の住民運賃割引制度を活用し、島民の経済的負担を軽減することで、利用促進を図る。

○近隣航路とのバランスを考慮し、自動車航送運賃を見直し増収を図る。

ネットワーク計画等の取組み(Do)

○計画どおり適切に実施している。

○大島島民を対象とした離島住民運賃割引を実施し、島民の利便確保、負担軽減を図っている。

実施状況、目標の達成(Check)

○計画どおり離島住民運賃割引を4月1日から導入した。

○自動車航送運賃見直しを4月1日で見込んでいたが、条例改正が3月定例会の上程となり、住民周知期間を考慮して6月1日から実施した。

基礎データ

- 1 人口 (H22国調)
大島:1,269人
- 2 面積
大島:15.55平方キロメートル
- 3 協議会開催数(H24年度)
平戸市愛のり交通活性化委員会大島航路改善専門部会 3回

今後の課題、対応(Action)

○原油価格の高騰により燃料費が増加している。入札制度を継続し、安価な購入に努め、主機回転数の抑制や寄港地の再編等検討し、経費の節減に努める

○安定的な運航を図るため、船員の確保に努める。

○農産物の車両が集中する時期や、お盆、年末年始の多客期は、輸送能力の確保が必要であり、竹山運輸(有)と更なる連携を図っていく。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通ネットワーク計画に基づく事業)

平成26年2月28日

九州運輸局

評価対象事業名： 離島航路確保維持事業

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
長崎県離島航路 対策協議会	平戸市	大島～平戸航路の 運航	—	A	B	原油価格の高騰により燃料 費が増加している。入札制度 を継続し安価な購入に努め、 主機回転数の抑制や寄港地 の再編等検討し経費の節減 に努める。また、安定的な運 航を図るため、船員の確保 に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・燃料の購入にあたっては、 入札の他に近隣航路と連携 した取り組みも検討願いた い。 ・また、安定的な航路運営の ため船員の確保にも引き続 き努めていただきたい。 ・離島航路の維持確保のた めには、住民の利用状況を 把握しニーズに応じていく とともに、観光分野と連携し 観光客の利用促進を計って いただきたい。また、観光客 の受け入れについては、島民 の理解も重要であることから 住民を巻き込んだ検討がな されることが望ましい。 	